（様式３（１））

燃料デブリ取出しの代替工法に関する概念検討事業技術提案様式

|  |
| --- |
| 1. **代替工法の実現可能性**
 |
| * 代替工法の内容について記載すること。
 |
| **内容確認**※以下の項目が具体的に記載されているか確認し、記載されていれば確認欄にチェックを入れてください。※【基礎】と示された項目は必ず記入し、【加点】と示された項目は可能であれば記入してください。 | **確認欄** |
| **【基礎】*** 福島第一原子力発電所の現状を十分に考慮した提案内容となっているか。
* 代替工法が対象とする燃料デブリの位置（PCV内部、RPV内部、あるいは両方）が記載されているか。
* 機材の搬入及び設置から燃料デブリ取出し作業の実施、後片付けまでの一連の作業方法及び手順は概念図やフローシート等を用いて具体的に分かりやすく記載されているか。
 | 　☐　☐　☐ |
| **【加点】*** 燃料デブリ取出しに必要な機材等を燃料デブリ近傍まで接近させるために、PCV及びRPVや内部構造物を通過又は撤去する方法が具体的に記載されているか。
* 燃料デブリ収納缶の設置位置と燃料デブリ収納後の収納缶の仮置き場所までの運搬ルート及び移送方法は適切か。
* 本代替工法が成立するために必要な既存技術と、今後開発に必要な要素技術が明確に記載されているか。
 | 　☐　☐　☐ |
| 1. **工法における安全上の考慮**
 |
| * 工法における安全性について、考慮した内容を記載すること。
 |
| **内容確認**※以下の項目が具体的に記載されているか確認し、記載されていれば確認欄にチェックを入れてください。※【基礎】と示された項目は必ず記入し、【加点】と示された項目は可能であれば記入してください。 | **確認欄** |
| **【基礎】*** 被ばく低減の方法は具体的かつ適切か。
* 作業の各ステップにおいて、放射性物質の飛散や逆流による放出防止のためのバウンダリの維持方法が考慮されているか。
* 原子炉建屋並びに既存設備の耐震性に重大な影響を与えないことを課題として認識しているか。
 | 　☐　☐　☐ |
| **【加点】*** 被ばく低減を考慮したバリア内の換気及びろ過の方法が検討されているか。
* 作業中にPCVからの放射性物質の漏えいを増大させない方法が検討されているか。
* 工法において、耐震性に関して配慮されている点があるか。
* 作業に使用する機材の除染を含むメンテナンス方法は適切か。
 | 　☐　☐　☐　☐ |

※必要に応じて記入欄の大きさの変更や、図表の添付をしても良い。